

## 「2学期を迎えて」

校長 安藤 徹



9月になりました。2学期がスタートしました。

今年の夏は本当に何度も「災害級の暑さ」とか「危険な暑さ」という言葉をよく耳にしましたね。

本当に暑い暑い（熱い、熱い）夏休みでした。みなさん体調管理はうまくできたでしょうか？しかし、そのような暑い夏休みでしたが、岩戸支援学校の生徒たちは休み中も元気ががんばり活躍しました。



まずは、部活動の公式戦がありました。バスケットボール部のみなさんとティーボール部のみなさん、今年度初めての対外試合ということで大はりきり・暑さに負けず本当によく頑張っていましたね。

また、8月29日には県教育委員会主催の「清掃技能検定」という検定会が校内で行われました。これは県教委作成の清掃技能マニュアルにもとづいた清掃の手順や方法について審査を受け、後日〇級という判定が出されるものです。今回の検定には知的障害教育部門の10名の生徒が参加しました。

ところで、以前から予告させていただいたとおり8月より体育館の空調設備工事が開始となりました。これは、県内の特別支援学校29校すべての体育館に空調設備（エアコン）を設置する事業の一環として行われるものです。工期につきましては計画では来年令和6年2月末までとなり、その間体育館への立ち入り・使用は全面的にできなくなります。開放事業等で本校の体育館を利用されている地域の方々にはご不便、ご迷惑をおかけすることとなりますが、ご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



ただそのような状況の中、お隣というかお向かいの横須賀市立岩戸中学校のご厚意により、水曜日午後の部活動の時間を中心に体育館を借用できることになりました。県立、市立の違いはあるにせよ同じ地域の学校として本当に感謝の気持ちでいっぱいです。この書面をお借りしてあらためて御礼申し上げます。

4月より岩戸養護学校から岩戸支援学校に校名が変更となった際に、今まで以上に「地域に開かれた学校＝地域とつながる学校になるように」という思いを強く持っていきたいということを4月号でも少しお伝えしましたが、私がこの学校に校長として着任以来これまでの約3年間はコロナ禍ということも影響し、なかなか地域の方々や学校、関係機関とのつながりを深めることができずにいましたが、今回の岩戸中学校とのつながりをはじめ、7月には町内会の七夕飾りを岩戸支援学校に飾っていただいたり、岩戸中学校と町内会からのお誘いがあり、10月に岩戸中学校で開催される地域の作品展に参加させていただくことになったり、本当に少しずつですが地域の方々とのつながりを深める機会が増えてきたように思われます。大変うれしいことです。



9月16日（土）には岩戸支援学校の「岩桜祭（文化祭）」が予定されています。4年ぶりに「入場制限のない」文化祭となります。いつも岩戸支援学校を様々な形で支えていただいている保護者の方々、地域の方々、関係者の皆様、どうぞ生徒たちの準備や練習の成果を直接ご覧いただき、また一つの小さなつながりを作っていただければと考えていますのでぜひご来校ください。

令和5年9月1日